日本実務教育学会
The Japan Society for Professional Education Research

第２回大会プログラム

2022 年 6 月 26 日（日）

社会構想大学院大学（オンライン開催）

日本実務教育学会第 2 回大会実行委員会

学校法人 先端教育機構
社会構想大学院大学

日本実務教育学会第２回大会の開催にあたって

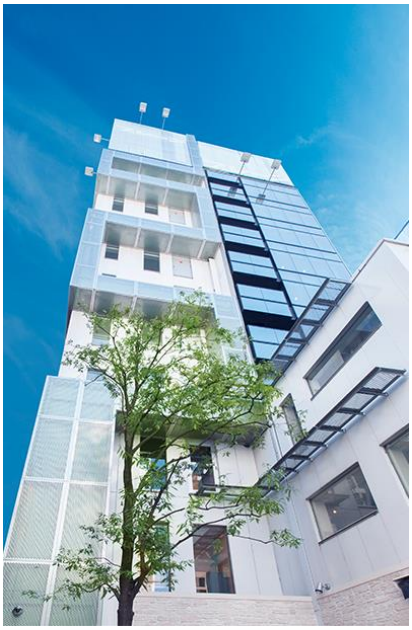
日本実務教育学会第２回大会を６月 26 日（日）に開催いたします。今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第１回大会と同様にやむなくオンラインで開催することとなりましたが、実務教育領域の研究に関する交流と議論の場としてご活用ください。

本大会も第１回と同様の、自由研究発表、総会、シンポジウム、懇親会（オンライン）から構成されます。今回自由研究発表は、17 本のお申込みをいただき、前回に引き続いて多くの方にご発表いただけることとなりました。大会実行委員会で発表資格や発表内容を確認の上受理させていただき、「実務家教員」「教育実践」「実践の理論と省察」「職業人の成長と学習」の４つの部会を設定いたしました。前回とは異なる部会編成となり、本学会における新たな研究の広がりが感じられるものとなりました。今回も各会員から実務領域や研究領域に関する最新の知見をご発表いただけると思いますので、参加者の皆様にはご興味ご関心に応じて部会にご参加いただけましたらと存じます。

また、シンポジウムは、高等教育機関における実務家教員の研究のあり方や可能性を探求することを目的として「実務家教員による『研究』の広がり」と題しました。当該テーマにつきまして、３名の実務家教員の方々、石澤靖治氏（学習院女子大学）、中林恵美子氏（早稲田大学）、柴山慎一氏（社会構想大学院大学）にご報告いただきます。自由研究発表の各報告のタイトルと内容、及びシンポジウムの趣旨につきましては、大会プログラムをご参照ください。

本大会においても前回と同様に最後にオンラインでの懇親会をご用意しております。前回は多くの方にご参加いただき参加者同士の活発な交流の機会となりました。今回も実務家、実務家教員、研究者教員のネットワーク構築に寄与できる機会となることを願っております。

なお、自由研究発表、総会、シンポジウム、懇親会の参加方法につきましては、後日改めて参加者の皆様にお知らせ致します。２回目の大会ということもあり、運営面などはまだまだ模索中の段階であることから至らぬ点が多々あるかと存じますが、大過なく実施できるよう準備を進めてまいりますので、ご参加、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



第２回大会実行委員会
委員長　　川山　竜二

大　会　案　内

1.　大会日程

- 2022 年 6 月 26 日（日）

2.　実施スケジュール

- 10:00～12:00　自由研究発表Ⅰ～Ⅳ
- 12:15～12:45　総会
- 12:45～13:45　昼休憩
- 13:45～15:45　シンポジウム
  「実務家教員による『 研究 』の広がり」
- 16:00～17:30　懇親会（オンライン）

3.　大会参加方法

- 大会への参加をご希望される方は下記 URL よりお申し込みください。
  https://jsper.coep.jp/convention/
- 大会に参加される方は、以下に記載の金額を **6 月 17 日（金）まで**にお支払いください。
  - 会員（正会員・仮会員）　5,000 円
  - 非会員　10,000 円
- 大会はオンライン（Zoom による）で実施します。自由研究発表、総会、シンポジウム、懇親会への参加方法等は別途メールでお知らせします。

4.　自由研究発表要領等

- 発表時間：発表 15 分、質疑 5 分（計 20 分）
- 全体討議：20 分
- 発表経過時間は「5 分経過」「10 分経過」等、Zoom のチャット機能を通じてお知らせします。
- 発表者がやむをえない理由により欠席する場合には、速やかに学会事務局（jsper@coep.jp）までメールでご連絡ください。なお、その場合、発表時間と発表の順番の繰り上げは行わず、司会者の判断により、休憩または討議の時間に当てます。

5.　発表要旨集録

- 『発表要旨集録』は大会参加者の方を限定に、データで配布いたします。

6.　問合せ先

大会に関してご不明な点がございましたら、学会事務局までご連絡ください。
MAIL：jsper@coep.jp／TEL：03-6273-8840

自由研究発表Ⅰ
―実務家教員―

司会：上田修三（京都光華女子大学）

9:55　開会

10:00～10:20
マスメディア出身実務家教員による「実践と理論の融合」の現状
〇橋本純次（社会構想大学院大学）

10:20～10:40
人生 100 年時代・ライフシフトにおける実務家教員の考察
〇竹中信勝（ニューホライズンコレクティブ合同会社）

10:40～11:00
実務家教員の業務領域の拡張について
－地域連携・インターンシップ領域における実践事例より－
〇今永典秀（名古屋産業大学）
松林康博（名古屋産業大学）

11:00～11:20
実務家教員 7 年目のキャリアの迷いから導いた道しるべ
〇田上正範（追手門学院大学）

11:20～11:40　全体討議

自由研究発表Ⅱ
―教育実践―

司会：本間正人（社会構想大学院大学）

9:55　開会

10:00～10:20
実務経験をアクティブラーニングに、偶然を学習機会に　～観察と推察とフィードバック～
○彌島康朗（敬愛大学）

10:20～10:40
実務経験を活かした IT 機器利用の実習授業による設計と実践
○林雅之（埼玉工業大学 工学部 情報システム学科 非常勤講師／
国際大学 GLOCOM／NTT コミュニケーションズ）

10:40～11:00
教師のオンボーディングにおけるケーススタディを使った研修実践にかんする一考
～認定 NPO 法人 Teach For Japan の赴任前研修より～
○篠田啓介（認定 NPO 法人 Teach For Japan）

11:00～11:20
コロナ禍におけるリカレント学習、ビジネス研修の活用と効果について
～生涯学習とオンライン動画学習 Schoo のニーズ～
○桑田明（東洋大学）

11:20～11:40
実践の理論としての「リモートワークにおけるマネジメント研修設計」
～インストラクショナルデザインを用いた実践知の形式知化～
○成瀬岳人（パーソルプロセス＆テクノロジー株式会社）

11:40～12:00　全体討議

自由研究発表Ⅲ
―実践の理論と省察―

司会：脇拓也（横浜商科大学）

9:55　開会

10:00～10：20
「質的研究法」と「実践の理論」を架橋する
――暗黙知・経験知の言語化・体系化のための技法確立に向けて
○伴野崇生（社会構想大学院大学）

10:20～10:40
アクションリサーチ研究における「実践の理論」の検討
○松山博輝（社会構想大学院大学実務教育研究科(修了生)）

10:40～11:00
なぜ「大学の管理運営を担う大学職員」が育ちにくいのか
―「全国大学職員調査」（2010 年、2021 年）の結果に対する考察―
○樋口隆史（社会構想大学院大学）

11:00～11:20
実務教育学はいかにして可能か
○川山竜二（社会構想大学院大学）

11:20～11:40　全体討議

自由研究発表Ⅳ
―職業人の成長と学習―

司会：小川修功（WaShPresso COMPANY）

9:55　開会

10:00～10:20

グローバル人材へのキャリア発達プロセス

―日本人４名の統合 TEM（複線径路等至性モデリング）による検討―

○五十嵐篤（社会構想大学院大学　実務教育研究科）

10:20～10:40

未知の専門職を生み出す学習過程を捉えるための分析概念の検討

○眞崎光司（社会構想大学院大学　実務教育研究科）

10:40～11:00

IT 業界における法人営業の能力分析と考察

○向井俊介（社会情報大学院大学）

伴野崇生（社会構想大学院大学　実務教育研究科）

11:00～11:20

TAE ステップによる実務経験を通じた自己成長に関するリフレクション

○今井桂子（社会構想大学院大学　実務教育研究科）

伴野崇生（社会構想大学院大学　実務教育研究科）

11:20～11:40　全体討議

シンポジウム

実務家教員による「研究」の広がり

【時間】

- 6 月 26 日（日）13:45～15:45

【登壇者】

- 石澤靖治（学習院女子大学）
- 中林美恵子（早稲田大学）
- 柴山慎一（社会構想大学院大学）
- 篠田雅人（モデレーター・社会構想大学院大学）

【趣旨】

令和 3 年 3 月、日本実務教育学会は、実務教育・実務家教員に係る研究の推進、研究成果の普及、及び会員相互の連携・交流の促進を目的として発足しました。同年 11 月に開催された第 1 回研究大会では、実務経験の言語化・体系化に関する研究、実践知の伝達方法に関する研究、実務家教員の養成に関する研究等、各会員の関心に基づく研究成果が数多く発表されました。実務経験や実務家教員を対象とした研究成果を発表し、会員同士で相互に研究テーマについて討論できることは、実務経験を有する会員、及び実務教育に関心のある会員が集う学会であるからこそ実現できるものと考えられます。

このような特色を有する日本実務教育学会という場を活用し、実務教育・実務家教員に関する研究を推進することを通じては、研究者教員だけではなく、実務家教員及び実務家の研究能力の向上につながります。特に実務家教員が研究能力を高めることに関して、そのニーズは専門職大学設置基準の条文からも確認できます。専門職大学設置基準第 36 条第 2 項には、実務家教員の研究能力に関する定めがあり、具体的には「大学において教授、准教授、専任の講師又は助教の経歴（外国におけるこれらに相当する教員としての経歴を含む。）のある者」「博士の学位、修士の学位又は学位規則（昭和二十八年文部省令第九号）第五条の二に規定する専門職学位（外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。）を有する者」「企業等に在職し、実務に係る研究上の業績を有する者」とされています。

このように社会的にも、研究能力のある実務家教員が求められている実情がありますが、一方で、実務家教員の研究とは何か、どのように行うのか等、実務家教員の研究能力については、具体的に定義がなされているわけではありません。

そこで、学会が発足したばかりの第 2 回の研究大会であるからこそ、今後も学会として実務経験や実務家教員を対象とした研究を推進していくにあたって、実務家教員の研究、そして研究能力とは何か、一定の共通理解を会員間で図ることが大切だと考えました。

本シンポジウムは「実務家教員による『研究』の広がり」と題し、実務家教員としての研究経験を豊富にお持ちの方々に、ご自身の研究の実践例をご紹介いただくとともに、実務家教員の研究がどのような意義をもつのか等、実務家教員の研究に関するお考えをご報告いただきます。その上で、実務家教員による研究によって、今後どのような研究の広がりの可能性があるのか、討論を通じて、理解を深めていけれ

ばと思っています。

フロアにご参加の皆様からも、実務家教員の研究に関するコメントを通じてご参加いただくことで、今後実務家教員に求められる研究能力の知見の交換ができれば幸いです。

名古屋市立大学
NAGOYA CITY UNIVERSITY

進化型実務家教員養成プログラム

TEEP
Training for Emerging Educators and Practitioners
コンソーシアム

連携校
岐阜薬科大学・高知県立大学・中京大学

特 徴
- 「履修証明制度」に基づく履修証明プログラム
- PBL（課題解決型学習）とIPE（多職種連携）を活用
- 実務領域診断カルテ（ポートフォリオ）の導入

自身のスキルアップ、社員の成長にもつながります

実務領域診断カルテを活用した
キャリア開発支援

進化型実務家教員養成プログラム　詳しくはWebへ　TEEP　https://teep-consortium.jp

KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築

代表校：舞鶴高専，連携・協力校：福島高専,長岡高専,福井高専,香川高専,放送大学,長岡技術科学大学

KOSEN-REIM
KOSEN-Recurrent Education of Infrastructure Maintenance

“地元のインフラは地元で守る”をモットーに，**地方における建設技術者の技術レベル向上**を目指し，**高専におけるインフラメンテナンス分野のリカレント教育と人材育成を担う『実務家教員』を育成**します。

文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」中核拠点校開発プログラム

実務家教員育成研修プログラム

22’開催中！
23’受講生
来春募集！

- **対象**　技術士又は技術士相当の資格を有し，高度な実務能力と相当の実務経験を有する者
- **概要**　７月～２月（約８カ月間），月１～２回（全６回，計９日間），土日開催
- **定員**　１２名
- **会場**　大阪市内又は舞鶴高専社会基盤メンテナンス教育センター（ｉＭｅｃ）

実務家教員の教養講座 → 実務経験と専門性の棚卸講座 → 実践講義力養成講座 → リカレント教育体験講座 → 教育能力養成講座 → 実証講座教育実習 → プログラム修了評価

学修時間合計：90時間（e-learning：30時間，講習会：60時間）

お問合せは「実務家教員育成研修プログラム事務局」まで
（場所：舞鶴高専iMec内，TEL：0772-62-8877，MAIL：jp-reim@maizuru-ct.ac.jp，WEB:「KOSEN-REIM」で検索）

実務家教員として、活躍し続けるために

23科目の
充実のプログラム

配信コンテンツの
視聴と課題提出

＋

年4回のスクーリング

受講生募集！
〆切
8月22日(月)

社会構想大学院大学
次世代高等教育研究センター(NHERC)

実務家教員 FDプログラム

ファカルティ・ディベロップメント

実務家教員として活躍されている方、及び実務家教員養成に関連する教育プログラムを修了した方の「教育・研究能力の質保証」に貢献することを目指し、実務能力・教育指導力・研究能力を継続的に更新していただくための教員の能力開発・向上(Faculty Development)研修プログラムを提供します。

オンラインワークショップ開催

1	5月19日(木)19:30 ～ 21:00	実務に基づく研究・教育と社会課題のアプローチ
2	6月18日(土)10:30 ～ 12:00	実務家(教員)だからこその研究の進め方
3	7月16日(土)15:00 ～ 16:30	実務家(教員)だからこその教育実践
4	8月2日(火)19:30 ～ 21:00	あらためて実務家(教員)の履歴書と公募

講　師　伴野 崇生 社会構想大学院大学 実務教育研究科 准教授(予定)

対　象
○実務家教員を目指している方
○現役の実務家教員

参加費
無料(要事前申込)

定　員
各回 20名

開催方法
オンライン
(zoom)

お申込はこちら

学校法人 先端教育機構
社会構想大学院大学
〒169-8518東京都新宿区高田馬場1-25-30
TEL: 03-3207-0005 Email: nherc@coep.jp
URL: https://nherc.coep.jp

説明会
オンライン
配信中！
NHERC 説明会

日本実務教育学会第 2 回大会プログラム

日本実務教育学会第 2 回大会実行委員会
委員長　川山　竜二
委員　　眞崎　光司

発行者　日本実務教育学会第 2 回大会実行委員会

問合せ先　日本実務教育学会事務局
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-2 （一社）教育人財開発機構内
MAIL：jsper@coep.jp／TEL：03-6273-8840